



<https://www.fao.org/agroecology/overview/en/>

概要

アグロエコロジーとは？

アグロエコロジーは、持続可能な農業とフードシステムの設計と管理に、生態学的および社会的概念と原則を同時に適用する、総合的かつ統合されたアプローチです。それは、植物、動物、人間、環境の間の相互作用を最適化することを目指していると同時に、人々が何を食べ、それらがどのように、どこで生産されるかを選択できる、社会的に公平なフードシステムの必要性にも取り組んでいます。アグロエコロジーは科学であり、一連の実践であり、社会運動でもあり、ここ数十年にわたって概念として進化し、分野や農場に焦点を当てることから、農業と食品システム全体を網羅するように範囲を拡大してきました。それは現在、生産から消費までを含むフードシステムの生態学的、社会文化的、技術的、経済的、政治的側面を含む学際的な分野を表しています。

食料、生計手段、健康、天然資源の管理について個別に考えることはもはや不可能です。これらの複雑で相互に依存する課題に対処するには、全体論的なアプローチによってシステム（体系的な）思考を採用することが必要です。持続可能な農業と食料システムによる、人と地球との根本的なつながりは、持続可能な発展のための 2030 アジェンダの中心にあり、協調行動をとって、変革に向けた政策を追求することの緊急の必要性を強調しています。気候変動と生物多様性の損失という状況の中で、両立的な成長を確保し、地球の天然資源を持続可能な方法で管理しながら、貧困を終わらせ、飢餓をゼロにすることは、人権を尊重する全体的かつ統合されたアプローチによってのみ可能になります。

アグロエコロジーは、公共政策を、持続可能な農業とフードシステムに向けて導くための包括的で広範囲にわたるシステムフレームワークを表しています。それは、統合された省庁間の政策設計と実施を促進し、しばしば細分化されている農業と食品部門をまとめることにより、公共の効率を高めます。アグロエコロジーは、資源の責任ある透明な管理に有利に働く学際的なメカニズムを通じて、さまざまな利害関係者を積極的に関与させます。その結果、アグロエコロジーへの移行は、異なる環境や文化といった背景に適応した、さまざまなレベルと規模の全体的かつ統合された方法により、経済、環境、社会、栄養、健康、文化といった複数の持続可能性目標の同時達成を支援します。

アグロエコロジーは、ボトムアップで地域的な経過に基づいており、地域の課題に対してその

地域の人々を中心とした解決策を提供するのに役立ちます。アグロエコロジーは地域の状況、制約、および機会に依存しますので、アグロエコロジー的アプローチを適用する唯一の方法はありませんが、アグロエコロジーの 10 要素の枠組みとしてまとめられた共通の原則があります。

アグロエコロジーフレームワークの 10 要素

FAO は、各国が変革を促進するのを支援するために、アグロエコロジーの 10 要素の枠組みを開発しました。10 の要素は相互に関連し、相互に依存しており、現実について考えるための単純化された全体論的な方法を表しています。それらは、持続可能な農業とフードシステムへのアグロエコロジーの移行における必須成分、重要な相互作用、創発特性、および望ましい実現条件を説明しています。10 要素は、アグロエコロジーへの移行を計画、実施、管理、および評価する際に、実務家やその他の利害関係者による意思決定を促進するための便利な分析ツールです。



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations

THE 10 ELEMENTS OF AGROECOLOGY

**GUIDING THE TRANSITION
TO SUSTAINABLE FOOD AND
AGRICULTURAL SYSTEMS**



序章

今日の食料および農業システムは、世界市場に大量の食料を供給することに成功しています。しかし、外部からの投入量が多く、資源集約型の農業システムは、大規模な森林破壊、水不足、生物多様性の損失、土壌の枯渇、高レベルの温室効果ガス排出を引き起こしています。最近の大きな進歩にもかかわらず、飢餓と極度の貧困は、世界的に重大な課題として残っています。貧困が削減されたところでさえ、蔓延する不平等が残っており、貧困撲滅を妨げています。

FAO の「持続可能な食料と農業のための共通ビジョン」に不可欠なアグロエコロジーは、この不安定な気候に対する世界的な対応の重要な部分であり、誰も置き去りにされないようにしながら、将来の食料需要の大幅な増加に対応するための独自のアプローチを提供します。

アグロエコロジーは、生態学および社会的概念と原則を食品および農業システムの設計と管理に同時に適用する統合アプローチです。持続可能で公正なフードシステムのために対処する必要がある社会的側面を考慮しながら、植物、動物、人間、および環境の間の相互作用を最適化することを目指しています。

アグロエコロジーは新しい発明ではありません。それは 1920 年代から科学文献で確認でき、家族経営の農家の実践、持続可能性のための草の根の社会運動、世界中のさまざまな国の公共政策で表現されてきました。最近では、アグロエコロジーが国際機関や国連機関の話題になっています。

アグロエコロジーの特徴は何ですか？

アグロエコロジーは、持続可能な開発への他のアプローチとは根本的に異なります。これは、ボトムアップおよび地域的な経過に基づいており、地域の課題に対する状況に応じた解決策を提供するのに役立ちます。アグロエコロジーの革新は、科学と生産者の伝統的、実践的、地元の知識を組み合わせた知識の共創に基づいています。アグロエコロジーは、自律性と適応能力を高めることで、生産者と地域社会に変化の主要な担い手としての力を与えます。

アグロエコロジーは、持続不可能な農業システムの慣行を微調整するのではなく、食料と農業システムを変革し、統合された方法で問題の根本原因に対処し、全体的かつ長期的な解決策を提供することを目指しています。これには、フードシステムの社会的および経済的側面への明確な焦点が含まれます。アグロエコロジーは、女性、若者、先住民の権利に重点を置いています。

アグロエコロジーの 10 要素とは？

食料と農業のシステムを変革し、持続可能な農業を大規模に主流化し、「飢餓をゼロに」やその他の複数の SDGs を達成するよう各国を導く際に、アグロエコロジーに関する FAO の地域セミナーから次の 10 の要素が生まれました。

多様性；相乗効果；効率；回復力；リサイクル；知識の共創と共有（アグロエコロジーシステムの共通の特徴、基本的な慣行、革新的アプローチを説明する）

人間のおよび社会的価値；文化と食の伝統（文脈の特徴）

責任あるガバナンス；循環経済と連帯経済（環境を可能にする）

これらアグロエコロジーの 10 要素は相互に関連し、相互に依存しています。

10 要素が有用な理由とその使用方法

分析ツールとして、10 要素は各国がアグロエコロジーを運用するのに役立ちます。

アグロエコロジーのシステムとアプローチの重要な特性、およびアグロエコロジーを可能にする環境を開発する際の重要な考慮事項を特定することにより、10 要素は、アグロエコロジーの移行を計画、管理、および評価する際の政策立案者、実践者、および利害関係者のためのガイドとなります。

多様性

多様化は、天然資源を保全、保護、強化しながら食料安全保障と栄養を確保するためのアグロエコロジーへの移行の鍵です。



アグロエコロジーシステムは非常に多様です。生物学的観点から、アグロエコロジーシステムは、さまざまな方法で種と遺伝資源の多様性を最適化します。たとえば、アグロフォレストリーシステムは、さまざまなレベルまたは層でさまざまな高さや形の作物、低木、樹木から構成されることで垂直方向の多様性を高めます。

間作は、相補的な種を組み合わせて空間的多様性を高めます。多くの場合マメ科植物を含む輪作は、時間的な多様性を高めます。作物と家畜のシステムは、固有の環境に適応した在来種の多様性に依存しています。水生生物の世界では、伝統的な魚の混合養殖、多栄養段階複合養殖(IMTA、魚類と貝類、海藻類を連結し統合的に管理する養殖方法)、また作物-魚の輪作体系が、多様性を最大化する同じ原則に従います。

生物多様性の増加は、生産、社会経済、栄養、および環境上の利点など、さまざまに貢献します。多様性を計画および管理することにより、農業生態学的アプローチは、農業生産が依存する受粉や土壌の健康などの生態系貢献の提供を強化します。多様化は、バイオマスと水の収穫を最適化することにより、生産性と資源利用効率を向上させることができます。

アグロエコロジーにおける多様化は、新しい市場機会の創出などにより、生態学的および社会経済的な回復力も強化します。たとえば、作物や動物の多様性は、気候変動に直面したときの失敗のリスクを減らします。

異なる種の反芻動物による混合放牧は、寄生による健康リスクを軽減しますし、さらに多様な在来品種や動物種は、過酷な環境で生き残り、生産し、繁殖レベルを維持するためのより優れた能力を持っています。同様に、多様な製品、地元の食品加工、アグリツーリズムなど、差別化された新しい市場からのさまざまな収入源を持つことは、家計収入の安定に役立ちます。

さまざまな穀類、豆類、果物、野菜、動物由来の製品を摂取することで、栄養効果が向上します。さらに、さまざまな品種、動物種による遺伝的多様性は、人間の食事に主要栄養素、微量栄養素、およびその他の生物活性化合物を提供する上で重要です。たとえば、ミクロネシアでは、広く流通している市販の白い果肉のバナナの 50 倍のβカロテンを含むのに、十分に活用されていない伝統的な品種であるオレンジ色の果肉のバナナを再導入することで、健康と栄養の改善に役立つことが証明されています。

世界レベルでは、3 つの穀物が全消費カロリーの 50% 近くを占めている一方で、作物、家畜、水生動物、樹木の遺伝的多様性は急速に失われ続けています。

アグロエコロジーは、農業生物多様性を管理および保護すること、環境に優しい多様な製品に対する需要の高まりに対応することで、これらの傾向を逆転させるのに役立ちます。そのような例の 1 つとして、水生生物種の多様性と農村の生活にとっての重要性にとって重要な、灌漑された天水および深水の稲の生態系から生産された「魚に優しい」米をあげることができます。

知識の共創と共有

農業におけるイノベーションは、参加型プロセスを通じて共同で創出されると、地域の課題によりよく対応します。

アグロエコロジーは、状況に固有の情報に依存しています。固定的な処方箋を提供するのではなく、アグロエコロジーの実践は、環境、社会、経済、文化、政治の状況に合うように調整されます。知識の共創と共有は、気候変動への適応を含む食料システム全体の課題に対処するためのアグロエコロジーの革新を開発および実装するプロセスにおいて中心的な役割を果たします。

共創のプロセスを通じて、アグロエコロジーは伝統的知識と土着の知識、生産者と取引業者の実務的知識、および世界的な科学的知識を融合させます。

農業における生物多様性に関する生産者の知識と特定の状況での操作経験、および市場と制度に関する生産者の知識は、このプロセスの絶対的な中心となります。

教育は、公式および非公式の両方で、共創プロセスから生じるアグロエコロジーのイノベーションを共有する上で基本的な役割を果たします。たとえば、30年以上にわたり、水平方向への"Campesino a Campesino"運動は、アグロエコロジーの知識を共有する上で極めて重要な役割を果たし、ラテンアメリカの何十万もの生産者を結びつけてきました。対照的に、技術移転のトップダウンモデルは限られた成功しか収めていません。

相互信頼を構築する参加型プロセスと制度的革新を促進することで、知識の共創と共有が可能になり、関連する包括的なアグロエコロジーへの移行プロセスに貢献します。



相乗効果

相乗効果を構築することで、食品システム全体の主要な機能が強化され、生産および複数の生態系の機能が支援されます。

アグロエコロジーは、ますます増大する気候変動において相乗効果を高めるために、一年生および多年生の作物、家畜および水生動物、樹木、土壌、水、および農場や農業景観のその他の要素を選択的に組み合わせる多様なシステム的设计に細心の注意を払っています。

フードシステムで相乗効果を構築すると、複数のメリットがもたらされます。生物学的相乗効果を最適化することにより、アグロエコロジーの実践は生態学的機能を強化し、資源利用効率と回復力を高めます。例えば、地球規模で見ると、間作システムや輪作における豆類による生物学的窒素固定は、土壌の健全性、気候変動の緩和および気候変動への適応に貢献しながら、毎年窒素肥料を1000万米ドル近く節約しています。さらに、作物に適用される窒素の約15%は家畜の糞尿に由来し、作物と家畜の連携による相乗効果が強調されています。アジアでは、統合された稲作システムにより、稲作と魚、カモ、木などの他の産物の生産とが組み合わせられています。相乗効果を最大化することにより、統合された稲作システムは、生物多様性の生息環境と害虫抑制

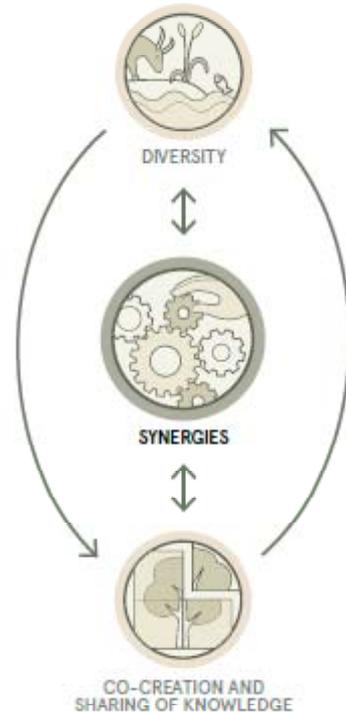


を提供するだけでなく、収量、食生活の多様性、雑草防除、土壌構造と肥沃度を大幅に改善します。

景観レベルでは、相乗効果を高めるために、時間と空間における生産活動の同期が必要です。

Calliandra（マメ科ヌメノキ亜科ベニゴウカン属の常緑小低木）の生け垣を使用した土壌侵食制御は、東アフリカ高地の統合されたアグロエコロジーシステムで一般的です。この例では、定期的な剪定の管理実施により、生け垣の間で栽培される作物と樹木との競合が減少し、同時に動物に飼料が提供されるなど、さまざまな要素間の相乗効果が生まれます。牧畜と大規模な放牧システムは、人々、複数種の群れ、さまざまな環境条件の間の複雑な相互作用を管理し、回復力を構築し、種子の散布、生息地の保全、土壌肥沃度などの生態系活動に貢献しています。

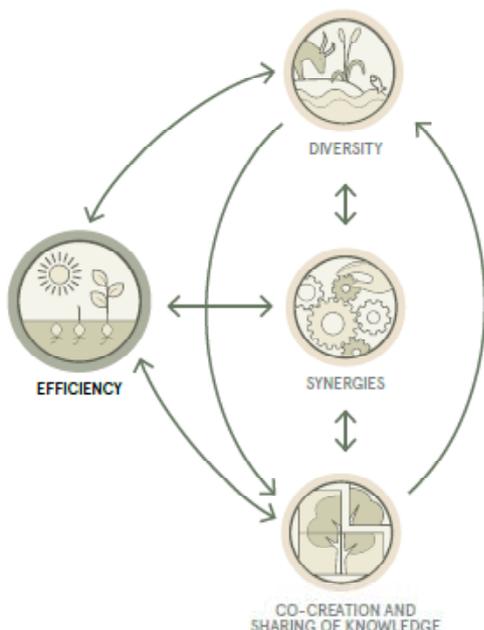
アグロエコロジカルなアプローチは相乗効果を最大化しようと努力しますが、自然と人間のシステムの間ではトレードオフも発生します。たとえば、リソース（天然資源）の使用またはアクセス権の割り当てには、しばしばトレードオフが伴います。より広いフードシステム内で相乗効果を促進し、トレードオフを最適に管理するために、アグロエコロジーはパートナーシップ、協力、責任あるガバナンスの重要性を強調しますし、複数の規模でさまざまな関係者が関与します。



効率

革新的なアグロエコロジーの実践は、より少ない外部資源を使用してより多くを生産します。

資源利用効率の向上は、さまざまなシステム構成要素間の相乗効果を生み出すために多様性を慎重に計画および管理するアグロエコロジーシ



ステムの新たな特性です。たとえば、効率性に関する重要な課題は、全世界で農地に施された窒素肥料のうち、収穫物に変換されるのは 50%未満であり、残りは環境に失われ、重大な環境問題を引き起こしていることです。

アグロエコロジーシステムは、天然資源、特に太陽放射、大気中の炭素、窒素といった豊富で無料の天然資源の利用を改善します。

生物学的プロセスを強化し、バイオマス、栄養素、水をリサイクルすることで、生産者は外部資源の使用を減らし、コストを削減し、それらの使用による環境への悪影響を減らすことができます。

最終的に、外部資源への依存を減らすことは、生産者の自律性と自然または経済的衝撃に対する回復力を

高めることにより、生産者を力づけます。

統合システムの効率を測定する1つの方法は、収率土地換算比（Land Equivalent Ratio、LER）を使用することです。LERでは、2つ以上の構成要素（例えば、作物、樹木、動物など）を栽培した場合の収量と、同じ構成要素を個別に栽培した場合の収量を比較します。統合されたアグロエコロジーシステムでは、より高いLERを示すことがよくあります。

このように、アグロエコロジーは、必要な生物学的、社会経済的、制度的多様性をもち、時間と空間の調整を備えた農業システムを促進し、より高い効率をサポートします。

リサイクル

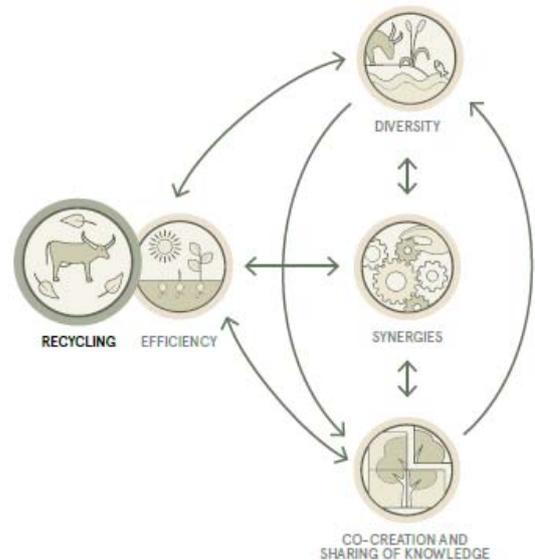
より多くのリサイクルは、経済的および環境的コストの低い農業生産を意味します。

廃棄物は人間の概念であり、自然の生態系には存在しません。自然の生態系を模倣することにより、アグロエコロジーの実践は、生産システム内の栄養素、バイオマス、および水のリサイクルを促進する生物学的プロセスをサポートし、それによって資源の利用効率を高め、廃棄物と汚染を最小限に抑えます。

リサイクルは、さまざまな構成要素や活動間の多様化と相乗効果の構築を通じて、農場規模と景観内の両方で行うことができます。たとえば、深く根を張る樹木を含むアグロフォレストリー（農林複合）システムは、一年生作物の根を超えて失われた栄養素を取り込むことができます。作物と家畜のシステムは、糞尿を堆肥化して、あるいは直接肥料として使用したり、作物の残渣と副産物を家畜の飼料として使用することにより、有機素材のリサイクルを促進します。

栄養循環は、すべての非供給（non-provisioning）生態系活動の経済的価値の51%を占めており、家畜の統合はこれに大きな役割を果たしています。同様に、イネと魚のシステムでは、水生動物がイネの肥沃化を助け、害虫を減らし、外部からの肥料や殺虫剤の投入の必要性を減らします。

リサイクルは、栄養サイクルを閉じて廃棄物を減らし、外部資源への依存度を下げ、生産者の自律性を高め、市場や気候衝撃に対する脆弱性を軽減することで、複数の利点をもたらします。有機材料と副産物のリサイクルは、アグロエコロジーの革新に大きな可能性をもたらします。



回復力

人々、地域社会、生態系の回復力（レジリエンス）を強化することは、持続可能な食料と農業システムの鍵です。

多様化したアグロエコロジーシステムは、より回復力があります。たとえば、干ばつ、洪水、ハリケーンといった異常気象を含む気象擾乱から回復したり、害虫や病気の攻撃に抵抗する能力が高くなります。



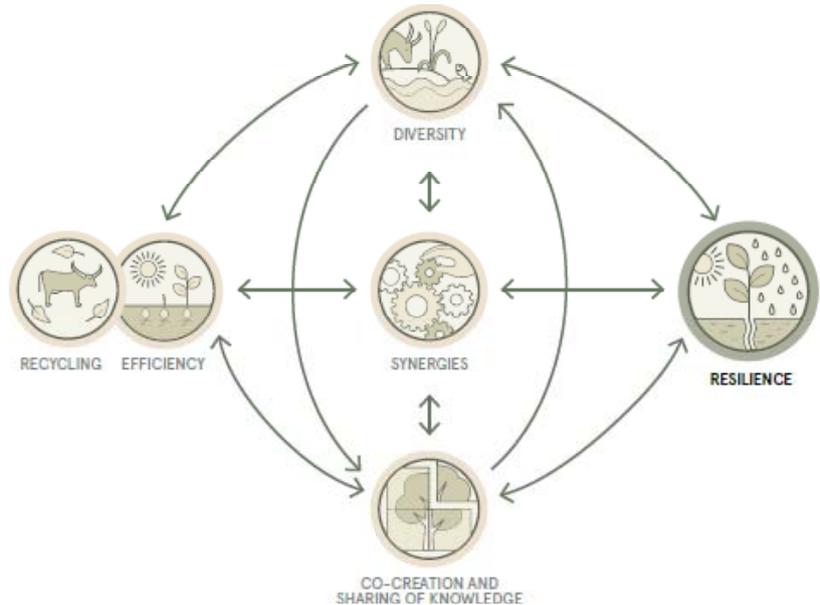
1998年に中米で発生したハリケーン・ミッチ（Hurricane Mitch）の後、アグロフォレストリー（農林複合）、等高線耕作（contour farming、等高線にそって帯状に作付けする耕作方法）、被覆作物（カバー・クロープ）を含む生物多様性のある農場は、従来の単一栽培を実践している近隣の農場よりも20～40%多くの表土を保持し、侵食も少なく、経済的損失もひどくはありませんでした。

機能的なバランスを維持することにより、アグロエコロジーシステムは害虫や病気の攻撃に抵抗することができます。アグロエコロジーの実践は、農業システムの生物学的複雑さを取り戻し、相互作用する生物の必要な群集（community）を促進することで害虫の大発生を自己調整します。

景観規模では、多様化した農業景観は、病害虫管理機能に貢献する大きな可能性を秘めています。

それと同時に、アグロエコロジカルなアプローチは、社会経済的な回復力を高めることができます。多様化と統合により、生産者は、単一の作物、家畜種、またはその他の農産物なら失敗するであろう脆弱性を軽減します。

アグロエコロジーは、外部からの投入に対する依存を減らすことで、経済的リスクに対する生産者の脆弱性を減らすことができます。生態学および社会経済的な回復力の強化は、密接に関連しています。結局のところ、人間は生態系の不可欠な部分なのです。



人間のおよび社会的価値

農村部の生活、公平性、社会福祉を保護し改善することは、持続可能な食料と農業システムにとって不可欠です。

アグロエコロジーは、SDGsにおける生活面の改善に貢献している、尊厳、公平性、包括性、正義などの人間のおよび社会的価値に重点を置いています。アグロエコロジーは、食料を生産、流通、消費する人々の願望とニーズを食料システムの中心に置きます。農業生態系を管理するための自律性と適応能力を構築することにより、農業生態学的アプローチは、人々と地域社会が貧困、飢餓、栄養不良を克服する力を与え、同時に将来の世代も豊かに暮らすことができるように、食糧確保権といった人権や環境管理の責任を促進します。

アグロエコロジーは、女性のための機会を創出することにより、ジェンダーの不平等に対処しようとしています。世界的にみて、女性は農業労働力のほぼ半分を構成しています。また、家庭の食料安全保障、食事の多様性と健康、および生物多様性の保全と持続可能な利用においても不

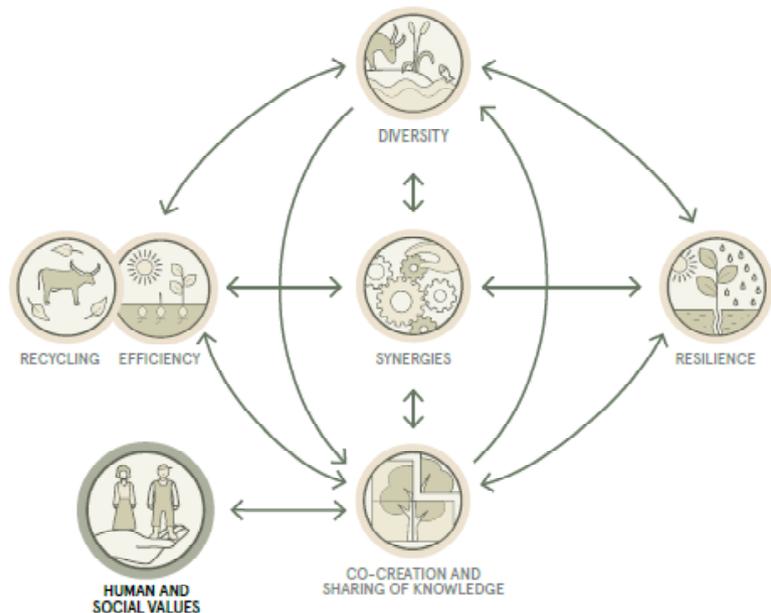


可欠な役割を果たしています。それにもかかわらず、女性は依然として経済的に疎外され、権利の侵害を受けやすく、その貢献はしばしば認識されないままです。

アグロエコロジーは、集団行動と商業化の機会を創出することを通して知識を構築することにより、家族農業における農村女性がより高いレベルの自律性を発達させるのに役立ちます。アグロエコロジーは、例えば、生産者グループへの参加を通じて、女性がより自律的になり、家庭、地域社会、さらにはそれらを超えて権限をもたせるための場を広げることができます。女性の参加はアグロエコロジーにとって不可欠であり、女性はしばしばアグロエコロジープロジェクトのリーダーです。

世界中の多くの場所で、地方の若者は雇用の危機に直面しています。アグロエコロジーは、まともな仕事の源として有望な解決策を提供します。アグロエコロジーは、知識集約的で、環境にやさしく、社会的に重要であり、革新的で、熟練した労働力に依存する農業生産のさまざまな方法に基づいています。一方、世界中の農村部の若者は、エネルギー、創造性、そして自分たちの世界を積極的に変えたいという願望を持っています。彼らが必要としているのはサポートと機会です。

アグロエコロジーは、持続可能な農村開発のためのボトムアップの草の根パラダイムとして、人々が自分自身で変化の主体になる力を与えます。



文化と食の伝統

アグロエコロジーは、健康的で多様で文化的に適切な食事を支援することで、生態系の健康を維持しながら、食料安全保障と栄養に貢献します。

農業と食料は、人類遺産の中核をなす要素です。したがって、文化と食の伝統は、社会において、また人間の行動を形作る上で中心的な役割を果たしています。しかし、多くの場合、私たちの現在のフードシステムは、食習慣と文化の間に断絶をもたらしています。この断絶は、全人口を養うのに十分な食料を生産している世界で、飢餓と肥満が隣り合っている状況の一因となっています。

世界中で約 8 億人が慢性的な飢餓状態にあり、20 億人が微量栄養素欠乏症に苦しんでいます。一方、肥満や食事関連の病気が急増しています。19 億人が過体重または肥満であり、非感染性疾患（がん、心血管疾患、糖尿病）が世界の死亡原因の第 1 位です。

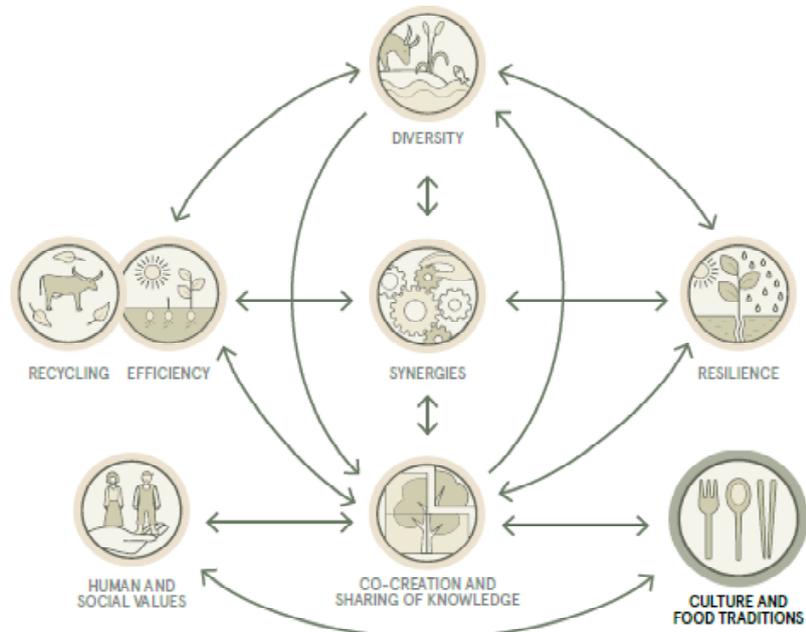
食料システムの不均衡に対処し、飢餓ゼロの世界に向かうには、生産を増やすだけでは十分ではありません。

アグロエコロジーは、健康的な食品の生産と消費を促進し、適切な食品への権利をサポートす



る調和のとれた方法で、伝統と現代の食習慣を一つにすることで、これらの間のバランスを再調整する上で重要な役割を果たします。このように、アグロエコロジーは人と食の健全な関係を深めることを目指しています。

文化的独自性（アイデンティティ）と場所の特徴（ユニークさ）は、多くの場合、景観やフードシステムと密接に結びついています。人と生態系が共に進化してきたため、文化的慣行と先住民の伝統的な知識は、農業生態学的解決策を与えてくれる豊富な経験を提供してくれます。たとえば、インドには推定 50,000 種の在来種の米が存在しています。これらの品種は、特有の味、栄養、害虫抵抗性、およびさまざまな条件への適応といった特性のために、何世紀にもわたって栽培されてきました。料理の伝統は、これらのさまざまな品種を中心に構築され、さまざまな特性を利用しています。蓄積されたこれらの多数の伝統的な知識をガイドとして利用することで、アグロエコロジーは、各地域がそこに住む人々を維持する可能性を自覚するのに役立ちます。



責任あるガバナンス

持続可能な食料と農業には、地方から国、そして世界規模まで、さまざまな段階での責任ある効果的なガバナンスメカニズムが必要です。

アグロエコロジーは、持続可能な食料と農業システムへの移行をサポートする責任ある効果的なガバナンスを必要とします。生産者がアグロエコロジーの概念と実践に従ってシステムを変革することをサポートする環境を作り出すには、透明で説明責任のある包括的なガバナンスメカニズムが必要です。成功例には、学校給食と公共調達プログラム、差別化されたアグロエコロジー農産物のブランド化を可能にする市場規制、生態系貢献に対する補助金と報奨金が含まれます。

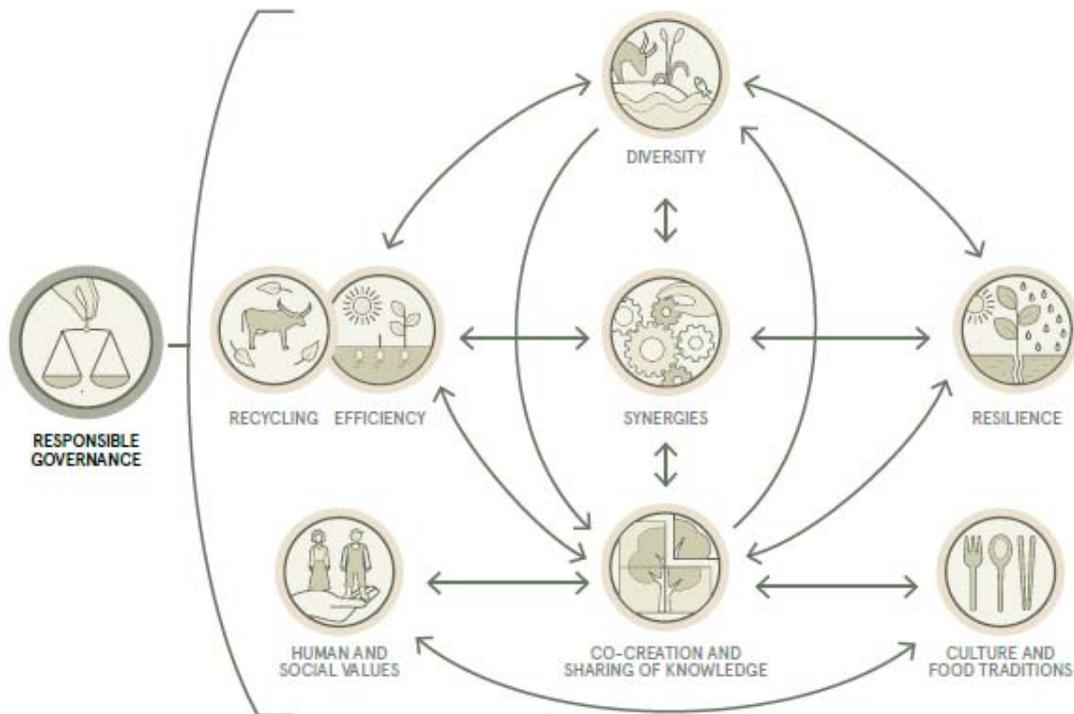
土地と天然資源のガバナンスはその典型的な例です。世界の農村部の貧しく脆弱な人々の大半は、生計を陸生および水生の生物多様性と生態系機能に大きく依存していますが、これらの資源への確実な権利がありません。

アグロエコロジーは、土地と天然資源への公平なアクセスに依存しています。これは、社会正義の鍵であるだけでなく、土壌、生物多様性、および生態系活動を保護するために必要な長期投資へのインセンティブを提供する上でも重要です。

アグロエコロジーは、さまざまな規模の責任あるガバナンスメカニズムによって最もよくサ



ポートされます。多くの国では、生物多様性と生態系機能の提供を強化する農業管理に報いる国家レベルの法律、政策、計画をすでに開発しています。伝統的および慣習的なガバナンスモデルといった領土、景観、およびコミュニティレベルのガバナンスも、利害関係者間の協力を促進し、トレードオフを削減または管理しながら相乗効果を最大化するために非常に重要です。



循環経済と連帯経済

生産者と消費者を再接続する循環経済と連帯経済は、包括的で持続可能な発展のための社会的基盤を確保しながら、プラネタリーバウンダリー（地球の限界）内での暮らし方に対する革新的な解決策を提供します。

アグロエコロジーは、地元の市場を優先し、好循環を生み出すことによって地元の経済発展を支援する循環経済と連帯経済を通じて、生産者と消費者を再び結びつけることを目指しています。

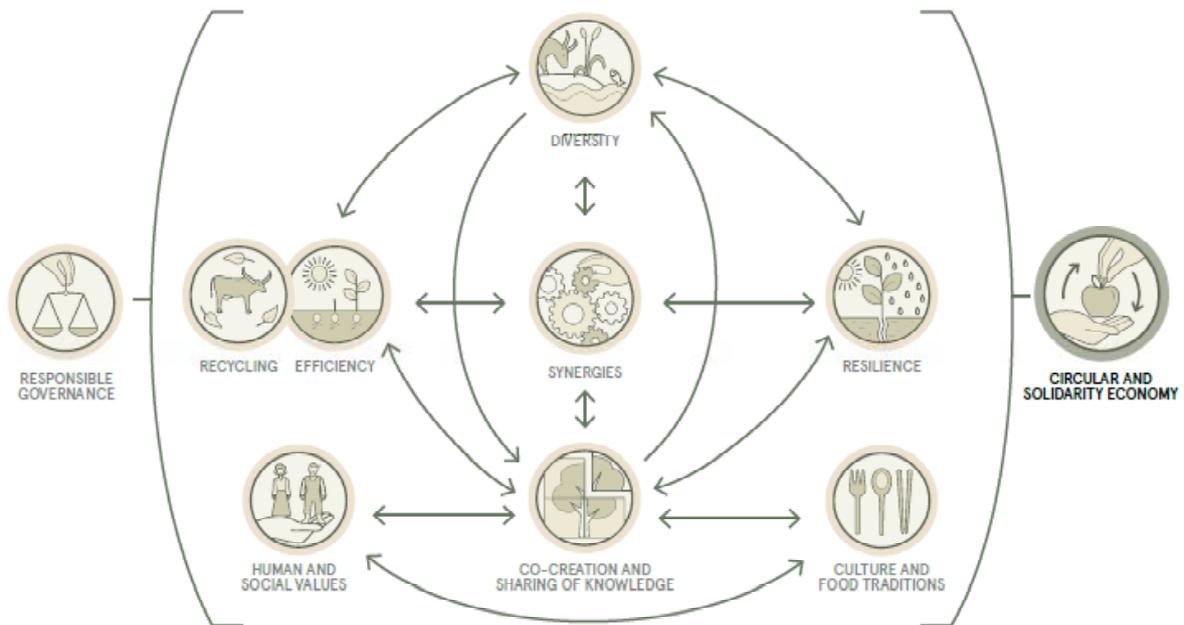
アグロエコロジカルなアプローチは、より公平で持続可能な市場を生み出すことで、地域のニーズ、資源、能力に基づいた有望な解決策を促進します。短い食品循環を強化することで、消費者にとって魅力的な価格を維持しながら、食品生産者の収入を増やすことができます。これらには、ほとんどの小規模農家が製品を販売する、より伝統的な地域的な市場と並んで、新しい革新的な市場が含まれます。

社会的および制度的革新は、アグロエコロジカルな生産と消費を促進する上で重要な役割を果たします。生産者と消費者を結びつけるのに役立つ革新の例としては、参加型保証制度、地元の生産者市場、原産地ラベル表示、CSA（地域支援型農業）、電子商取引制度などがあります。これらの革新的な市場は、より健康的な食事を求める消費者の需要の高まりに対応しています。



循環型経済の原則に基づいて食品システムを再設計することで、食品のバリューチェーンを短縮し、資源効率を高めることで、世界的な食品廃棄の課題に対処できます。現在、生産された全食料の 3 分の 1 が失われるか廃棄されており、食料安全保障と栄養に貢献できず、天然資源への圧力を深刻なものにしています。

食品の生産に使用されるエネルギーのうち失われたり廃棄されたりする分は、世界の総エネルギー消費量の約 10%であり、食品廃棄物のフットプリントは、温室効果ガス排出量のうち年間 3.5Gt の炭酸ガスに相当します。



www.fao.org/agroecology | agroecology@fao.org

